

2023年3月18日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程宜しくお願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
08772	＜結核菌の薬剤感受性検査＞ PZA(ピラジナミド)[結核化学療法剤]
03185 86207	＜非結核性抗酸菌の薬剤感受性検査＞ 非結核性遅発育抗酸菌/MIC測定 迅速発育抗酸菌/MIC測定

抗酸菌は結核菌と非結核性抗酸菌に大別され、非結核性抗酸菌はさらに、遅発育抗酸菌、迅速発育抗酸菌に分けられます。

結核の標準的な治療はリファンピシン(RFP)＋イソニアジド(INH)＋ピラジナミド(PZA)の3剤にストレプトマイシン(SM)またはエタンブトール(EB)を加えた4剤併用で2か月間治療後、RFP＋INHで4か月間治療が行われます。一方、近年急増している非結核性抗酸菌症は、190種類以上が確認されている非結核性抗酸菌の一部の菌により引き起こされ、ヒトに対する感染性の有無や治療に使用する抗菌薬が結核とは異なるため、菌種の同定と菌種に応じた薬剤感受性検査が必要です。

この度、PZA(ピラジナミド:結核化学療法剤)および非結核性遅発育抗酸菌や迅速発育抗酸菌に対する薬剤感受性検査の受託を開始いたしますのでご案内いたします。

【開始時期】2023年4月3日(月) ご依頼分より

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

【受託要領】

コード No.	08772	03185	86207
検査項目名	PZA	非結核性抗酸菌 MIC測定	迅速発育抗酸菌 MIC測定
検体	菌株（抗酸菌の発育が認められるもの）		
採取容器	抗酸菌用培地		
保存方法	室温		
検査方法	液体培地希釈法		
基準範囲	なし		
所要日数	1～3週	2～3週	2～3週
検査対象薬剤	PZA	SM、EB、KM、RFP、RBT、 LVFX、CAM、TH、AMK	AMK、TOB、IPM、FRPM、 LVFX、MFLX、AZM、CAM、 ST ^{※1} 、DOXY、MEPM、 LZD、CLF、STFX
報告形式	S(感性)またはR(耐性)	MIC値(μg/mL)	MIC値(μg/mL)
検査実施料/判断料	400点 ^{※2} /微生物学的検査 150点		
備考	・所要日数に培養日数および増菌などにかかる日数は含まれませんのでご注意ください。 ※1：ST(スルファメトキサゾール/トリメトプリム)につきましては、スルファメトキサゾールのMIC値を報告いたします。 ※2：抗酸菌薬剤感受性検査は、4薬剤以上を実施した場合に限り算定できます。PZA(ピラジナミド)単薬剤での算定はできません。		

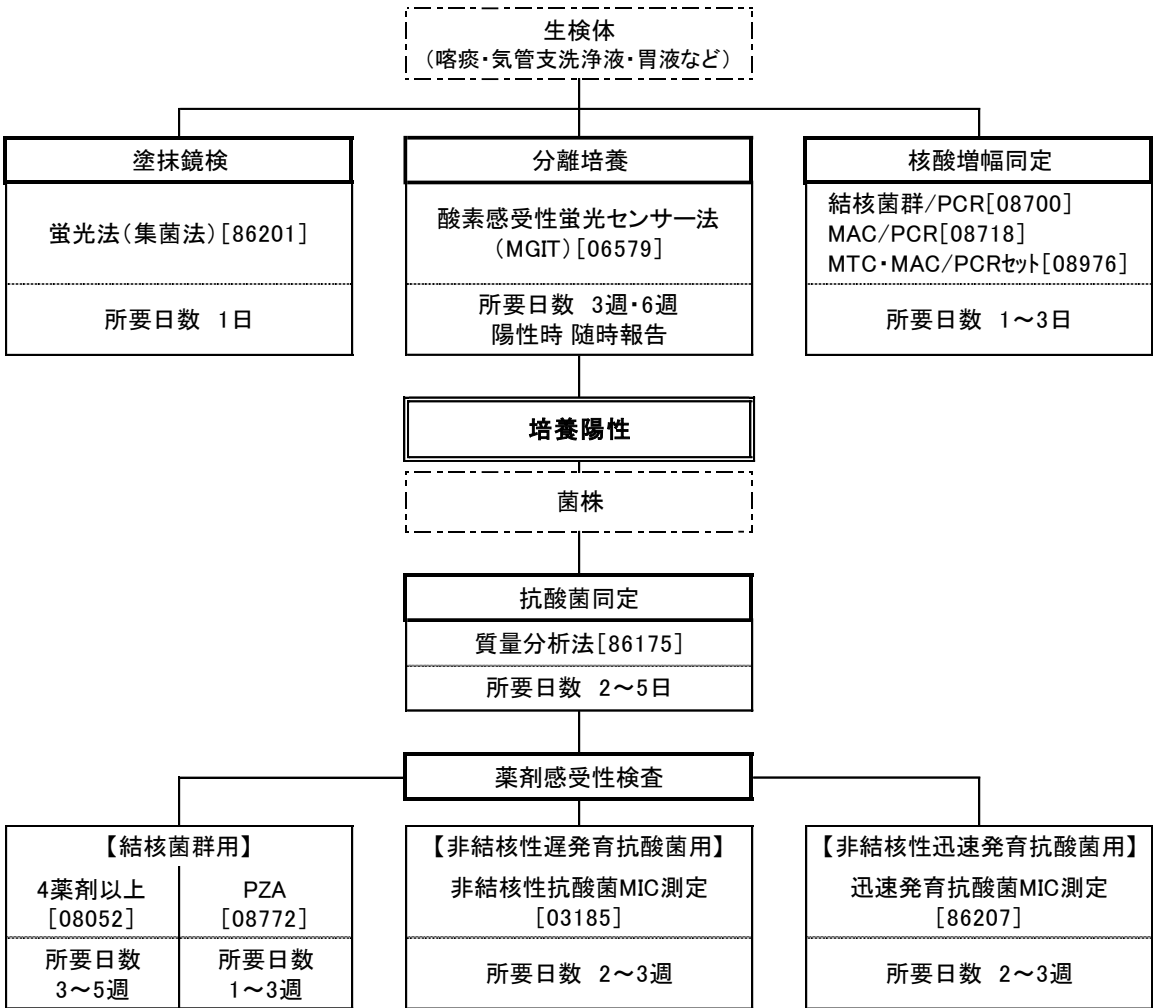
＜出検時の注意事項＞

- ◎貴施設にて抗酸菌の培養・同定検査を行った後の菌株でご提出の場合は、雑菌が発育していないことをご確認の上、菌種名を依頼書にご記入ください。
- ◎同定されていない菌株の場合は、抗酸菌同定(質量分析法)[コードNo.86175]をご依頼いただき、菌種確定を行ってください。菌種確定後に感受性検査をご依頼ください。

＜非結核性抗酸菌/MIC 測定(■)および迅速発育抗酸菌/MIC 測定(★)の検査対象薬剤の略語と薬剤名＞

■ SM(ストレプトマイシン)	■ EB(エタンブトール)	■ KM(カナマイシン)
■ RFP(リファンピシン)	■ RBT(リファブチン)	■ ★ LVFX(レボフロキサシン)
■ ★ CAM(クラリスロマイシン)	■ TH(エチオナミド)	■ ★ AMK(アミカシン)
★ TOB(トブラマイシン)	★ IPM(イミペネム)	★ FRPM(ファロペネム)
★ MFLX(モキシフロキサシン)	★ AZM(アジスロマイシン)	★ DOXY(ドキシサイクリン)
★ MEPM(メロベネム)	★ LZD(リネゾリド)	★ CLF(クロファジミン)
★ STFX(シタフロキサシン)	★ ST(スルファメトキサゾール/トリメトプリム)	

●（推奨）抗酸菌検査フローチャート



* []内は依頼コード No.

以上